

県立医大・福島大を中心とした放射線科学拠点形成による
「新たな福島市のまちづくり」

平成24年2月2日

「新たな福島市のまちづくり」のコンセプト

コンセプト

現行の福島県行政拠点に加え、放射線科学における医・理・工連携のための新たな拠点を構築し、広がりのある「新たな福島市のまちづくり」を目指す。

STEP1 放射線科学(医・理・工連携)拠点の形成

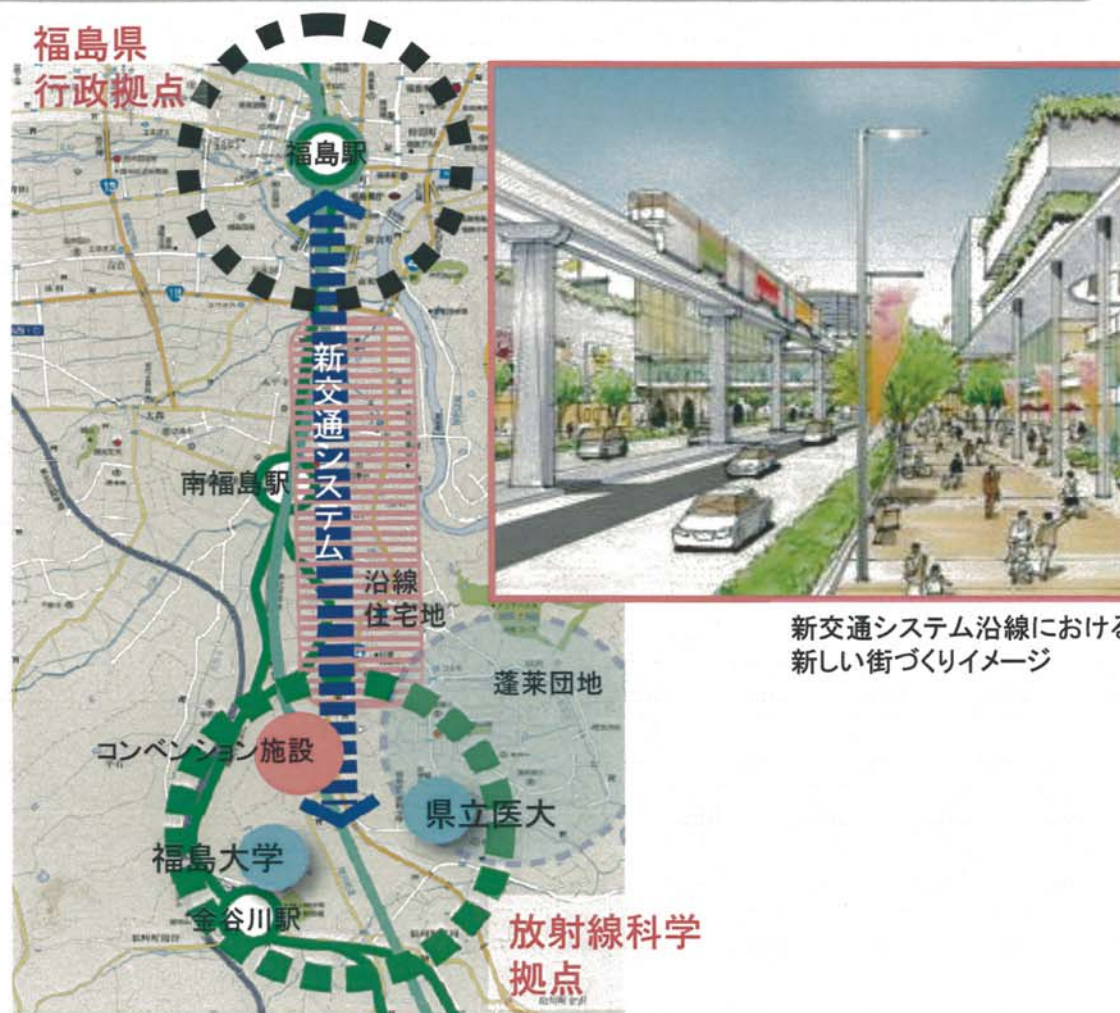
- ・ 県立医大、福島大学を中心とした放射線科学拠点の形成
- ・ 放射線科学に関わる様々な施設群の整備
- ・ 国際会議開催可能なコンベンション施設の整備
- ・ 研究者、関連企業社員を中心とした蓬莱団地等の活性化
- ・ 温泉施設と連携した滞在型治療施設の整備
- ・ 福島市固有の様々な再生可能エネルギーを活用した地産地消型のスマートシティの形成

STEP2 新交通システムによる拠点の結合

- ・ 福島県行政拠点と新拠点をつなぐ新交通システムの建設(モノレール等)

STEP3 2つの拠点間における住宅地等の整備

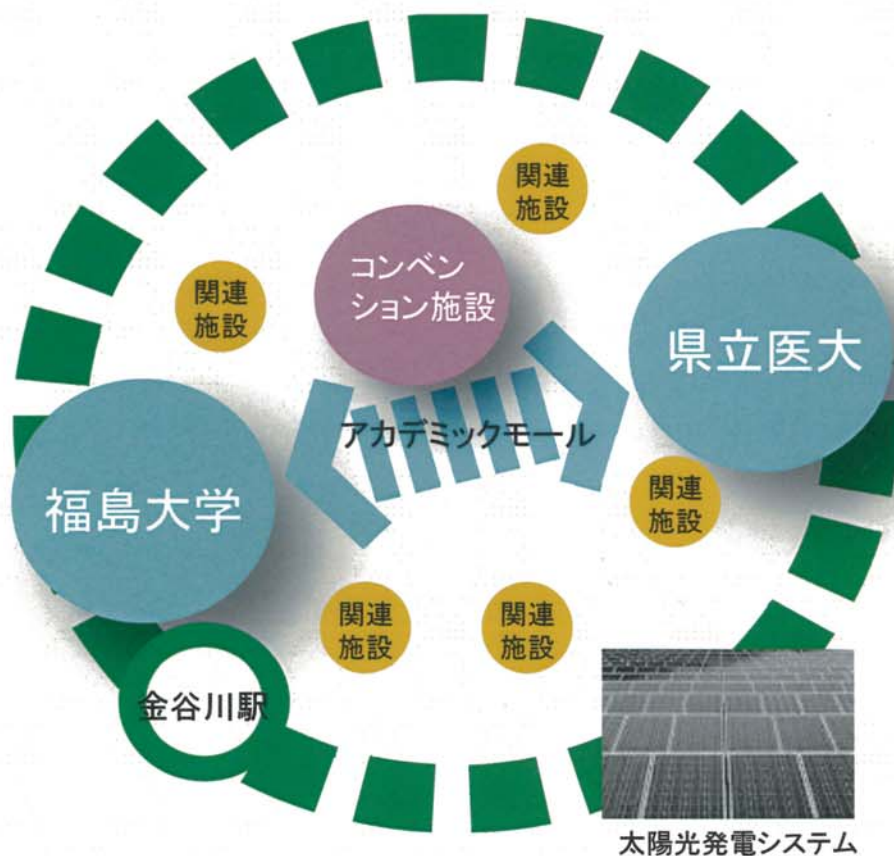
- ・ 新交通システム沿線における地震・津波・原発被災者と既住民が融和する住宅地等の整備



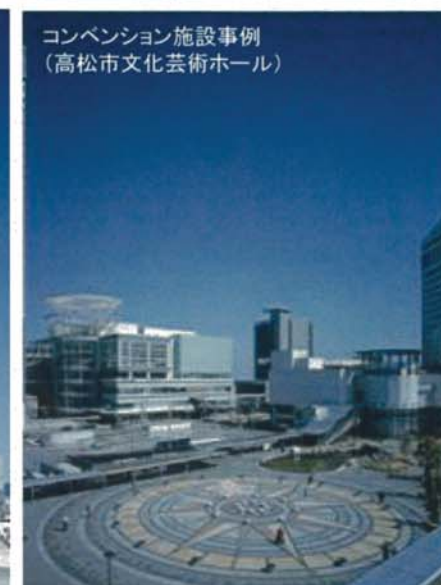
新交通システム沿線における新しい街づくりイメージ

放射線科学拠点のイメージ

- 県立医大、福島大学を有機的につなぐアカデミックモール
- アカデミックモールに国際会議も開催可能なコンベンション施設
- 放射線科学に関わる様々な施設群
- 再生可能エネルギー(水力、地熱、太陽光)の活用



コンベンション施設事例
(山口県国際総合センター)



コンベンション施設事例
(高松市文化芸術ホール)



コンベンションホワイエ事例
(内観イメージ)



コンベンションホール事例
(内観イメージ)

福島市周辺の温泉施設と再生エネルギー(水力・地熱)の活用

